

ASA

第105号
2023年 8月20日

ずうぼらだよい



ナイトサファリ

今年もナイトサファリに多くのお客さんが来園されています。

8/27(日)ガイドボラによるナイトガイドも2年目。頭骨や毛皮やクイズで使ったものにお客さんに触れていただけたのも好評でした。

50周年記念ガーデン

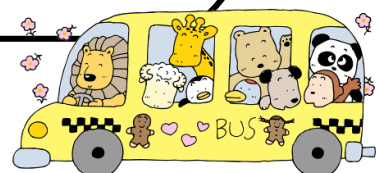
赤紫のサフィニアと今年初めてのケイトウが夏に映えます。

園内の他の花壇もお客さんに見て楽しんでいただける様、1年中花を絶やさない計画で進めています。



105号もくじ

- ・ みんなでガイドレポート 7月…………… 2・3
- ・ 8月の連絡会 報告…………… 4
- ・ 研修報告「野生動物とのつきあい方」… 5・6
- ・ ナイトガイドレポート…………… 7
- ・ 作業グループ活動報告 …………… 8・9
- ・ ひつじ村から …………… 9
- ・ 動物園ニュース …………… 10
- ・ 予定表 (9・10月) …………… 11・12





みんなでガイドレポート 7月



みんなでガイド① 7月2日(日) 10:00~12:00

- ・天 候：晴れ
- ・解説動物：クロサイ (M・O) ペンギン (N・S) キリン (N) スイギュウ (K)
ヤギ・ヒツジ・キリン (S) バク (Y)、ポニー (T) ニホンカモシカ (S) ソウ (I)
レッサーパンダ (C) 猛禽類 (C) ライオン (T) 記録 (T)



(記録・写真：Tさん)

- ・暑かった～！家族連れが多かった。よく救護や喫煙場所を聞かれるので、園全体を把握しておきたい。(Nさん)
- ・久しぶりに楽しかった。模型の羽を触ってもらった。ペンギンの羽は固そうに見えるけど柔らかいのを実感してもらった。(Sさん)
- ・暑い中サキもニコも良く動いていた。ブローヤや飼育係の音によく反応していた。ハナの昆孫は現在90頭。(Mさん)
- ・今日のクロサイはサービス満点。どろんこ遊びの話など2,30人と話した。日陰がなく暑い。(Oさん)
- ・5～6組の家族にガイドした。福山や愛媛、島根など県外の方もいろいろ情報もいただいた。ハクビシンは福山でも当然愛媛でも被害があるとのこと。アナグマも目撃情報も多々。(Oさん)
- ・室内でバクを密着して見ている人を今日も見かけた。子どもはバクを素通りしがち。もっと見てくれたらな。(Yさん)
- ・レッサーパンダは上の方にいることが多く、足の裏の話をよくする。(Cさん)
- ・フクロウは奥の方にとまっているので見つけれない方が多い。回って横の方から見てもらった。(Cさん)
- ・小さい子にはポニーの名前を教えたり乗馬体験の話をしたり(Tさん)
- ・今日は5～6組。ウンチの展示にカモシカは無かったので自分が撮ったカモシカのウンチの写真を見せてあげた。(Sさん)
- ・低学年でもよくソウについて勉強している子がいた。(Iさん)
- ・午前中はライオンの所は人が少なくほぼ素通りあ～あ(Tさん)
- ・ヒツジの赤ちゃんの展示が始まったが、人が多いと出てこない。キリンの所は涼しい風が通って快適。(Sさん)
- ・小学生に「バイバイ頑張ってるね！」と声を掛けられた。(Kさん)



みんなでガイドレポート 7月



みんなでガイド②

梅雨らしく雨の日が多かった週でしたが、この日は梅雨明け間近を思わせる蒸し暑い日でした。正面ゲート入ってすぐの通路沿いには、日よけ棚が設置されました。目でも涼しく感じます。この日は6月5日に生まれた双子のヒツジの命名式もありましたね。「カリン」と「ボタン」に決定！

- ・天 候：晴れ
- ・開 催 日：令和5年7月16日(日) 10:00~11:00
- ・解説動物：レッサーパンダ(Cさん)、マレーバク(Mさん)、ゾウ(Iさん)、キリン(Sさん、Hさん)、記録(Hさん)

<マレーバク/Mさん>

マレーバク舎に行くとバクがまだ外に出てなかったけれど飼育係さんが連れ出してくれてガイドスタート。出て来てすぐにプールに入ってウチ開始。水中でウチをするのは、自分の存在を天敵の動物に知られないようにするためのバク特有のものなので、それをお客さんに見てもらえて良かった。お客さんから受けた質問で「どうして体毛が白黒なのか」というのがあり「生息環境で自分を目立たなくして天敵から自らを守る為」と答えてあげた。密林で生息するマレーバク、直射日光に対して目はそれほど強くない。そんなクニオの目が最近白く濁ってきているように見える。年齢は5~6歳なのでまだそんなに老いていないが、日本の直射日光がバクには強すぎるのかも…ちょっと心配。



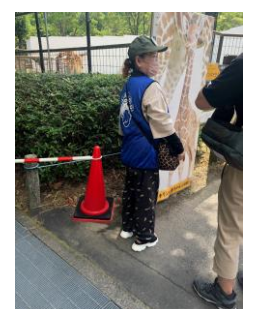
<レッサーパンダ/Cさん>

10組くらいのお客さんが来られたが、とても詳しい女性客ペアと男性客1名がいらっちゃった。男性客はガイドの必要がないくらいレッサーパンダについて知っておられたので、じっくり聞いてあげた。女性客ペアの方とは、分類や爪の事、フンの話などをした。エサが竹の場合、臭いはなく、むしろいい香りがする事を教えてあげた。西園は正面ゲートから距離があり、しかも上りなので、夏場はゆっくり移動してたらそこに到達するまでに疲れてしまうせいか、この日は早々と多くのお客さんが来られた。これからは、このように午前の涼しいうちに多くのお客さんが西園を訪れる傾向が増えるかもしれない。



<キリン/Hさん>

最近はお客さんの急ぎ具合や興味の度合いを考えてガイド内容を調整するようにしているが、この日もそれを実践した。これからは夏の猛暑も考慮に入れて、より柔軟にガイド時間を設定していこうと思っている。その対応策の一つとして、こちらからガイドを始めるのではなく、お客さんからキリンに対して抱いている疑問を投げかけてもらう事を行なっている。その為にもキリンについての情報をキチッと頭の中に整理できてないといけないのだが、はぐみの母親のメグミの年齢を聞かれて答えられず、案内板にダッシュするという一幕もあり、基本情報の勉強し直しが新たな課題となった。(記録:H)





8月の連絡会 報告



開催日：8月6日（日）10:00～11:30

参加者：F、T、C、K、M、N、S、T、S、N、T、O、H、K、O、T、I、C、K、T

（動物園から梅田さん）

猛暑の中、多くのメンバーの参加に感謝します。今回の主な内容は、ナイトガイドについての相談でした。

1. 園の近況について（梅田さんより）

- ・6/5に生まれた双子のヒツジの子どもの名前は「カリン」・「ボタン」に
- ・レッサーパンダの「ププ」➡長崎バイオパークへ移動
- ・6/19 小鳥の家 再開
- ・7/8 大鳥舎 再開
- ・7/9午後～10 大雨のため休園
- ・動物への暑さ対策実施

2. ナイトガイドについて

日時：8月27日（日）

第1部 17:00～17:30 キリン、フクロウ

第2部 17:45～18:15 ペンギン、ライオン

第3部 18:30～19:00 カエル、オオサンショウウオ

それぞれの動物に関してクイズをし、答え合わせをしながら動物解説をする。間の休憩時間には、毛皮や骨格、クイズで使った物などを展示し、お客さんに実物に触れてもらえる時間にする。コロナ禍のため3年間は実物に触れてもらうことが出来なかったが、久しぶりに実施する。安全安心のために展示の際には、担当者が補足の説明をしながら見守る。

昨年の反省を生かし、13:30～16:00にリハーサルを行い打ち合わせをする。

準備物：マイク4本（司会・クイズ・ハンドマイク）。パソコン、スクリーン、CDデッキ、毛皮、骨格、ウンチ

骨格や毛皮はステージ入口の外で展示する。また、クイズの途中には実物をお客さんに見せる。

ガイドグループ9・10月の予定

9月

- ・9月3日、17日（日） みんなでガイド①、②

10月

- ・10月1日（日） 10:00～連絡会 ガイドボラ企画「〇〇まつり」検討
13:30～みんなでガイド①
- ・10月15日（日） みんなでガイド②

★ 気候も良くなり、ガイドには心地よい季節となります。みなさん、ガイドを楽しみましょう。★

「野生動物とのつきあい方」

畑瀬第二飼育・展示係長

※今回のお話は、正しい、間違い、こうしなければいけないというよりも考えてもらうのがテーマになっています。

●野生動物との距離の取り方について考える

【疑問】

- ・野生動物へのエサやりやエサ台の設置は良いこと？
- ・ヒトへの馴化は動物にとっていいことなのか？

↓エサやりや馴化をした結果・・・

ヒトとの距離が近くなる（農作物への被害、交通事故、人身被害、自活力の低下、特定の系統が増えることによる多様性の劣化など）（例：六甲山のイノシシなど）

◎一番大切なのは生態系概念→食物連鎖の前提として大切なのが野生動物の概念である。

野生動物とは : ヒトの手が加わらず、自然に進化してきた動物。

家畜とは : ヒトにとって都合のいい個体同士を掛け合わせ、改良してきた動物。

では、「ヒト」は野生動物？家畜動物？

- ・アフリカから世界へ移動し、進化してきた動物。
- ・集団が大きくなり、自己家畜化された。

(ウマについて)

- 現在の野生馬はシマウマ類、一部のロバを除いて、ほぼ家畜化されたものが野生化したもの。
 - 日本の野生馬、都井岬の野生馬や各在来場はすべて管理されている家畜
 - アメリカの野生馬、ムスタングは大航海時代に持ち込まれた家畜が野生化したもの。
 - モンゴルの野生馬「プルシェバルスキーノウマ＝モウコノウマ」も、家畜が野生化したものと考えられている（諸説あり）。
- プルシェバルスキーノウマは、プシュヴァル…など、いろいろなカタカナ表記が存在しています。

(ラクダについて)

- 現在、野生のヒトコブラクダは全て、家畜が野生化（オーストラリアや中東など）したもの。
- フタコブラクダの野生型は激減しており、現在野生にいるフタコブラクダの多くが家畜が野生化したもの。

●生態系はいろんなところでつながっている。

例：トキがいなくなったら、トキに特異的についていたダニがいなくなった。

生態系は単純な食物連鎖やピラミッドではなく、細かい網の目のように複雑に絡み合っている。そのため、ある種がいなくなっても他の種が補完するので、すぐに影響が出ることは少ないが、い

なくなる種が増えてくると、その地域の生態系がある時に突然崩れてしまう恐れがある。魚捕りの玉網の目がところどころほつれても魚は掬える。しかしある時、突然ほころび同士が繋がって、大きな穴になり、掬えなくなる様子をイメージするとわかりやすい？

Q.「野鳥や野生動物が道にいた又は落ちていた場合どうするのか？」

基本的に「そのままにしておく」(市区町村への連絡も不要。)

>その動物を食べることで、子育てしたり、命をつなぐ動物もいる。

※道路上に動物の死体などがある場合は、その道路を管理している管轄に連絡(国道→道路緊急ダイヤル、その他→各区役所維持管理課、など)

ただし、明らかにヒトの生活が起因(建造物、車、捕獲など)となっている場合は、例外的に保護が必要なこともある。

Q.「野生動物に好んで食べるものや人が食べるものを与える人がいるが・・・」

近所の子や自分の子にも好きなものだけ与えるのか？考えてみる。

好きなものだけ食べていたら栄養バランスはどうなるか？

↓

元々食べていなかったもの、ヒトが食べるものは灰汁も少なく、美味しいため与えるとどんどん食べてしまう傾向がある。同じものだけを与え続けると栄養バランスが狂い死んでしまう。また、ヒトが与えるものに依存してしまい、ヒトとのトラブルや、自分で生きていく力を無くすことにつながる。

Q.「宮島のシカへの給餌の是非が問われている。宮島のシカは野生動物？」

疑問「宮島のシカは過去に奈良から連れて来られたシカでは？」

→宮島のシカを調べた結果、宮島在来のキュウシュウジカであることが判明。

ニホンジカの代表的な亜種には、北海道のエゾジカ、本州のホンシュウジカ、四国・九州・山口にいるキュウシュウジカがいる。ホンシュウジカは角が太く、キュウシュウジカは角が細く華奢なのが特徴。

○シカは本来イネ科の植物を多く食べる。

- ・宮島の山の方にいるシカ健康状態は良好で、町の方では痩せている個体が多い。
- ・人が食べ物を与えてしまうと人がくれると思ってしまい、里から下りてくる。人がくれた味、匂いがするビニル袋なども食べてしまうようになる。
- ・シカの遺体を解剖すると、胃から150枚ものレジ袋が出てきたことがあった。ビニール類を食べていることも。胃にビニールがあると、セルロースを消化するための微生物のいるすき間がなくなってしまう、栄養を消化吸収できなくなってしまう。

●身近なところでは野良猫、地域猫、大久野島のウサギなども問題になっている。

野生の動物とのかかわり方には賛否両論ありますが、安易な人の行動から生態系が大きく変化してきているとも言えると思います。



ナイトガイドレポート



10月の連絡会で参加された皆さんで振り返りをして詳しいご報告をする予定ですが、折角なので記憶が新しい時に第1報をお知らせします。写真も撮ってあると聞いていますので、次回改めて情報を整理してお伝えします。

開催日：2023年8月27日（日）17:00～19:30

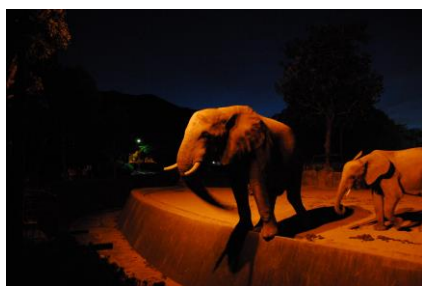
参加者：H、S、S、N、C、T、T、M、C、K、H、K、I、O、F、K、Oの17名 梅田さん

雨の予報も出ていましたが、天気にも恵まれて無事ナイトガイドを開催することができました。第1部はキリン、フクロウ 第2部はペンギン、ライオン 第3部はカエル、オオサンショウウオの動物ガイドでした。途中でパソコンの不具合で、上手くスライドが表示されず、肝が冷えるところもありましたが、なんとか修正できました。

各部の話が終了した後に、野外ステージの入り口付近で、ナイトガイドの話の中で使った物や、頭骨や毛皮を置いてお客様に見てもらおうとしたところ、大盛況でした。やはり見て触ることができるのはとても魅力的で楽しいようです。ナイトガイドを終え幾つかの改善点はあると思いますが、参加したボランティアの全員が出来ることをやり、協力して楽しく終えることが出来たのではないかと思います。(F)

毛皮とライオン、シマウマの頭骨、熊、ラクダ、キリン、ジャイアントパンダのうんちの展示は好評 でした。

19月の連絡会で反省会を持ちたいと思います。(O)



これらの写真は安佐動物公園のホームページからの写真です。ガイドボラによるナイトガイドの写真は次回までお待ちください。

「ずうぼらだより」は偶数月の20日に発行してきましたが、今回は、広報の田邊が体調を崩し予定通りに発行できませんでした。ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

遅くなりついでと言うわけではありませんが、8月27日のナイトガイドのレポートを今回のずうぼらだより105号で第1報としてお知らせすることができました。

9月になっても残暑は厳しいようです。皆さんも体調には十分気を付けて、今後ともボランティア活動へのご参加よろしくお願いたします。 (広報：T)



作業ボラ活動報告



2023年7月1日(土) 雨

大雨警報発令 警戒レベル3 発令中につき作業中止とのメール有

2023年7月8日(土) 雨 参加者5名 予備日

① 50周年記念花壇のペチュニアに多雨のためか腐敗が見られ、腐敗した部分を抜きレストラン
バクバク裏のペチュニアに植替え

② 正面エントランス、駐車場入口とぴーちくパークのジニアの花柄摘みと草むしり

★ジニアは最初に開花した花が株元に残りそれが病気の原因になるようで次回も植えるなら早め
の花柄摘みが必要 悪天候が続くとペチュニアも葉から腐敗が進むようだ。

★雨が続き仕事が溜まっているので次回は多数の参加者が有ればと思う。

2023年7月15日(土) 曇一時雨 参加者22名

① マリーゴールドの種まき ケイトウ(キャッスル)のポット上げ
(マリーゴールド500株・ケイトウ115株・ゼラニウム56株)

② 正面丸花壇・50周年記念花壇のペチュニアが長雨のため腐敗
→ポーチュラカに植替え ジニアの花柄摘み

★次回はぴーちくパークの入口のペチュニアをポーチュラカに植替え
育苗箱にケイトウ(アジアガーデン)の種まき

★ジニアは雨にも丈夫で良いが花色の混ざった物を購入したため

丸鉢の花色が同一色になってしまっている→来年購入する場合は色を選んで購入する方がよい

★パンジーの種まきを9/2に想定し品種の決定



2023年8月5日(土) 晴れ 参加者14名

① 正面エントランスの丸鉢のジニアとサフィニアとポーチュラカに植
替え

まず全員でジニアを抜きその後二手に分かれ②③の作業する

② ぴーちくパーク入口のペチュニア不調の5鉢をポーチュラカに植替
え鉢を並びを変える。パーク内のジニアに支柱を立てる

③ ケイトウ(キャッスル)が随分成長し花も付けているため記念花壇のジニアを
ケイトウに植替えする事とし、運搬 セロシアケイトウの種まき

④ エントランスのジニアの植替え済の班で記念花壇のジニアをケイトウに植替え

★マリーゴールドの摘芯 9月になったらポーチュラカと植替え

★ケイトウはぴーちくパーク内の丸鉢と展望広場及びレストランの表の丸鉢の植替え用に使用



7/15 記念花壇中央

※8月6日Sさんが展望広場の水やり用のホースリールを設置してくださいました。水栓は女子トイレの手洗い場から取る事となります。

2023年8月19日(土) 曇り時々晴れ 参加者16名

- ① エントランス案内所横外のトイレ前の丸鉢4個のサフィニアとポーチュラカをバラバラにし、正面の不調の丸鉢のものに捕植。 トイレ前の丸鉢にケイトウを定植
 - ② 売店前の丸鉢のジニアをマリーゴールドに植替え
 - ③ ぴーちくパークの入口のペチュニア等、及び中のジニアをマリーゴールドに植替え
 - ④ レストラン正面の丸鉢をジニアからマリーゴールドに植替え
 - ⑤ 温室のマリーゴールドの摘芯 ゼラニウムのポットを大きいサイズに植替え
- ★次回はパンジーの種まき、展望広場のジニアの植替えを中心に可能であれば西園サル舎横の花壇のポーチュラカを植替え 駐車場入口をケイトウに植替え レストラン裏側のペチュニアをマリーゴールドに植替え

9月以降の作業ボランティアの予定

9月 ①9月2日(第1土曜日) ②9月16日(第3土曜日)

熱中症対策のため**9時から**活動をはじめます。必要に応じてお茶などを用意ください。

10月 ①10月7日(第1土曜日) ②10月21日(第3土曜日)

そろそろ活動しやすい気候になると思われるので通常の**9時30分から**活動開始します。



ひつじ村から・・・

ひつじ村は、原則、毎月第4日曜日、安佐ZOOのどこかで村開き。ぴーちくパークで暮らすヒツジたちにももらった羊毛を、洗う、解す、染めるなど、イベントの材料準備が主な作業です。グループ問わず、興味ある方、通りすがりの見学がてらお茶だけでもOK。住民登録随時受付中！

*活動報告

- ・7月23日(日) ぴーちく2階で毛解し。

5・6月は毛刈りがすんで、ひつじ村作業開始、外作業で毛洗いや染色。例年、これからは地味な、室内作業をしながら、12月のイベントの準備に励みます。フェルトイベントでは、雪だるまと次の年の干支を提案、材料準備していますが、来年は辰年、安佐Zooにはいない(!?) ようなので、さてさて?です。

*活動予定

- ・9月24日(第4日曜日) 10:00~14:00
- ・10月22日(第4日曜日) 10:00~14:00

動物園ニュース

▷レッサーパンダが1頭移動しました (6/13)

令和5年6月13日(火)にレッサーパンダの「ププ」(3歳、雄、父親：トリリ・母親：ヨウヨウ)が、長崎バイオパークに移動しました。



▷ポニーが1頭来園しました (7/23)

令和5年7月23日(日)に北海道の合同会社カケハムポニークラブからポニーが来園しました。来園した個体は15歳の雌で、7月29日～8月13日の間、愛称投票を行い、8月27日(日)の命名式で「マール」という愛称に決まりました。



▷ことりの家 (6/19) と大鳥舎 (7/8) の通り抜けが再開しました

鳥インフルエンザ対策のため、三井のリハウスピーチくパーク内「ことりの家」と大鳥舎の通り抜けを中止しておりましたが、それぞれ6月19日(月)と7月8日(土)に再開しました。



【中止しているイベント等】 期間：当面の間

- ・バックヤードガイド
- ・サンちゃんツアー

令和5年度 ZOO & ボラ予定表 (2023年9月1日~9月30日)

月日	安佐ZOO				ZOOボラ	
	イベント	バックヤードガイド		解説	作業	
		AM	PM			
9月1日 金						
2日 土	納涼ナイト☆サファリ (20時まで開園)				活動日	
3日 日	納涼ナイト☆サファリ (20時まで開園)			みんなでガイドの日		
4日 月				9:45 ボラ室集合 10:00~ スポットガイド その後 反省会		
5日 火						
6日 水						
7日 木	休園日					
8日 金						
9日 土						
10日 日						
11日 月						
12日 火						
13日 水						
14日 木	休園日					
15日 金						
16日 土	国際レッサーパンダデー				活動日	
17日 日				みんなでガイドの日		
18日 月	動物たちの敬老の日 (敬老の日)			9:45 ボラ室集合 10:00~ スポットガイド その後 反省会		
19日 火						
20日 水						
21日 木	休園日					
22日 金						
23日 土	世界サイの日~クロサイのことを知ろう~ (秋分の日)					
24日 日	防災イベント in 安佐動物公園			ひつじ村		
25日 月						
26日 火						
27日 水						
28日 木	休園日					
29日 金						
30日 土						

☆ この予定は「ずうぼらだより」発送時の予定です。変更される場合も有りますので、活動時などには確認してください。
 ★ ることもあります。詳しくはその都度確認ください。

令和5年度 ZOO & ボラ予定表 (2023年10月1日~10月31日)

月日	安佐ZOO				ZOOボラ	
	イベント	バックヤードガイド		解 説	作 業	
		AM	PM			
10月1日				ボラ連絡会		
2月				10:00~ 動物科学館2階 午後 みんなでガイド		
3火						
4水						
5木	休園日					
6金						
7土					活動日	
8日						
9月	ZOO Café (スポーツの日)					
10火						
11水						
12木	休園日					
13金						
14土						
15日	ZOO Cafe					
16月						
17火						
18水						
19木	休園日					
20金						
21土					活動日	
22日				ひつじ村		
23月						
24火						
25水						
26木	休園日					
27金						
28土						
29日	動物園で計量記念日					
30月						
31火						

☆ この予定は「ずうぼらだより」発送時の予定です。変更される場合も有りますので、活動時などには確認してください。

★ ることもあります。詳しくはその都度確認ください。